

# 有題 無題

## 天寿を全うできる国に

前回までに説明してきた「技術イノベーション」と「制度イノベーション」。今回はこれを持続するための不可欠な仕組みである「エコシステム」について説明しよう。

私が主宰するワールド・ライアンス・フォーラム・イン・サンフランシスコ(WAFFS)は、日本政府と国連経済社会理事会の特別協議資格を持つ米国ライアンス・フォーラム財団が共催で2013年から毎年、秋に開催する会議だ。二つのイノベーションを継続して引き起こすエコシステム(原動力)を2日間で開催できるような設計され、今年もノーベル賞受賞者や医薬品医療機器総合機構(PMDA)の近藤達也理事長ら世界中から

### 内閣府参与 原丈人



原丈人は、27歳まで中米の考古学に携わり、84年まで米国で起業し、アクセラレーター・パートナーズを立ち上げた。米・英・イスラエルのベンチャー・アウトバウンド投資、世界的企業の特許出資などを経験。現在、ライアンス・フォーラムの代表理事。

## 技術と制度を同時に議論

重鎮が参加した。世界中の革新的技術を持つ研究者、ベンチャー経営者、企業関係者、政府関係者らが「すべての人々が健康で寿命を全うするには何をすべきか」という目的で集結する会議だ。

近年、世界は高齢化が進み慢性疾患が蔓延し、各国の医療費が上昇している。この難題を

14年に施行「医薬品医療機器等法」も、13年11月のWAFFSで議論された内容が1年後に法律となり、安全性が確認されれば、再生医療製品に

ついては「期限付き条件をどう助けるか」という観点から「技術イノベーション」を議論する。しかし、せっかくの斬新な患者の手に届かないと意味がない、新しい「制度イノベーション」の議論

14年に施行「医薬品医療機器等法」も、13年11月のWAFFSで議論された内容が1年後に法律となり、安全性が確認されれば、再生医療製品に

ついては「期限付き条件をどう助けるか」という観点から「技術イノベーション」を議論する。しかし、せっかくの斬新な患者の手に届かないと意味がない、新しい「制度イノベーション」の議論

をどう助けるかという観点から「技術イノベーション」を議論する。しかし、せっかくの斬新な患者の手に届かないと意味がない、新しい「制度イノベーション」の議論

を同時に進める必要がある。14年に施行「医薬品医療機器等法」も、13年11月のWAFFSで議論された内容が1年後に法律となり、安全性が確認されれば、再生医療製品に

「技術イノベーション」を議論する。しかし、せっかくの斬新な患者の手に届かないと意味がない、新しい「制度イノベーション」の議論

今年、WAFFSのテーマは「ヘルシー・エイジング」だ。交通事故で

日本が今成すべき事は何か。技術・制度・エコシステムを創造し、天寿を全うする直前まで健康でいられる世界最初の国を創ることである。